

住民意見(説明会)と対応

豊岡市市民会館(1月17日)

発言者	意見	説明会での回答	河川整備計画(案)への反映
1	円山川は70kmほどあるとのことだが、上流から流れてくる水が多いので国管理区間の28kmだけの計画でよいのか。県の区間も含めて計画して欲しい。一級河川の区間はどこまでか。	整備にあたっては兵庫県と調整を図って進めている。兵庫県の管理区間は県の整備計画で検討されている。兵庫県の総合治水条例の推進が図られるように支援を行っていく。	ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、4.1 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する事項に「兵庫県の総合治水条例による、流域全体で雨水を一時的に貯留・地下に浸透させる流域対策や浸水してもその被害を軽減する減災対策についても、その推進が図られるよう関係機関を支援する」と記載した。
2	①平成16年台風23号において玄武洞の施設が浸水した。無堤地区を解消することにより流量が増えて被害が発生しないのか。 ②掘削によって流量が確保されたのか。破堤するときの順位はどう想定しているのか。具体的な数値により示して欲しい。 ③どのくらいの土砂が一年間にたまるのか。また、どのくらいの頻度で浚渫をするのか。 ④下流ではコンクリートで堤防ができて川が狭くなるが大丈夫なのか。	台風23号では上流で越水などして立野地点で4,200m <sup>3</sup> /sの水が流れた。整備計画では溢れないことを前提に4,900m <sup>3</sup> /sを想定している。ただし、必要な余裕高が確保できていないので、それ以上の流量が発生すると溢れる状況である。円山川は局所的に堆積する箇所はあるが全体的には堆積しやすいとは思っていないが、たまった場合には浚渫等を行っていきたい。	①②④のご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、3.2.1 外水対策に関する事項に「本計画に定める河川整備により、観測史上最大の洪水である平成16年10月洪水(台風23号)と同規模の洪水が発生した場合であっても、全川にわたり家屋等の浸水被害の軽減を図ることが可能となる」と記載した。 ③のご意見を踏まえ、同様に、4.4.2.2)の河道内堆積土砂の管理に「土砂管理に関する課題について、メカニズムや土砂動態を明らかにし、具体的な対策につなげるため定期及び出水後の河川縦横断面測量や巡視、写真撮影等のモニタリングを行うことにより、河道内堆積土砂の変動の状況及び傾向を把握し、流下能力阻害となる場合は必要に応じて河道内堆積土砂の撤去を行う」と記載した。
3	小さいときから円山川をみているが台風23号ではそんなに雨が降ったように思えないが立野地点が決壊した。私の持っている地図では立野地点の堤防は海拔10.3mとなっているが、そんなものか。市役所で3.8m、旧病院のところで11.2m。国土交通省では高さ分かる地図はあるのか。浸水した箇所では浸水深の看板があるが大切だと思う。 ハザードマップには避難所が示されているが避難路が急な坂で老人は避難できない。	堤防は縦断的な勾配があるので上流から下流に低くなっている。堤防のどこで決壊するかは分からない。高さが低いところは決壊のリスクは高いが、それだけで決壊するとは限らない。堤内地の地盤高はレーザーで計測する技術もあるので把握している。ハザードマップに浸水深が示されている。	ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、4.4.3.1)防災情報の提供に「被害を最小に止めるため、関係機関や一般住民に水防警報や洪水予報等、適切な情報提供を継続して実施していく」と記載した。
		避難所については課題であるが、国土交通省からは早的確な情報を出していきたい。	ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、4.4.3.3)危機管理対策に「豊岡市と連携して、平常時から防災意識を高めるための学習会の開催や住民が意見を出し合い、自らが避難路の安全性を確認しながら作成する地域防災マップづくりワークショップの開催の支援を継続する」と記載した。
4	①今回の計画には津波対策も含まれているのか。 ②平成16年以前に100年に一度の洪水によるハザードマップが作成されて参考になったが、改修が進んでいるので再度作成して欲しい。 ③戸牧川の駐車場は国、県、市で連携して計画しているのか。	日本海側ではプレート型の地震が発生しないとされているので、兵庫県が平成10年に検討された津波高さで検討している。津波に関しては最大クラスの津波と施設計画上の津波の二つで考えていく。ハザードマップに関しては激特事業で改修したので浸水想定区域図の検討を行っているところである。ハザードマップについては豊岡市で作成されるので状況はわからない。整備計画では住家の浸水対策を目標としているので駐車場の浸水までは考慮していない。	①のご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、4.1.3)地震・津波対策に関する事項で、「津波対策については、堤防、樋門等の河川管理施設が遡上する津波を防護できるよう施設の補強、遠隔監視操作システムの充実など必要な対策を講じる」と記載した。 ②のご意見を踏まえ、同様に、4.4.3.3)の危機管理対策に「河川整備の進捗にあわせて、浸水想定区域図を見直す」と記載した。
5	想定外とはいくらのことなのか。浸水したときに想定外といわれては納得できない。円山川の旧川部分は一級河川に入らないのか。内水で浸水したので改修の一環に入れて欲しい。	想定外という言葉は現在使っていない。これまでいっていた想定外に対してはハードとソフトの両輪で考えていく。旧川部分は一級河川であるが、その部分は県管理である。豊岡排水機場は激特事業で12m <sup>3</sup> /sを15m <sup>3</sup> /sとした。	ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、4.1 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する事項に「長期的な河川整備の最終目標である円山川水系河川整備基本方針に則して、堤防整備などハード対策に加えソフト対応の充実を図り、人的被害が最小となるような水害に強い地域づくりを目指す」と記載した。
	円山川は余裕高がなく放水できないのでポンプを増強しても意味がない。	円山川の水位が高くなるとポンプは停止するが、ポンプを増強し、かつ排水する時間が長くなるので効果がある。	

青字: 原案にも記載していたが、意見を踏まえて案にも記載した内容。  
赤字: 原案には記載していなかったが、意見を踏まえて案に記載した内容。

住民意見(説明会)と対応

出石総合支所(1月18日)

発言者	意見	説明会での回答	河川整備計画(案)への反映
1	平成16年台風23号のとき、右岸の水上は危険だったが、たまたま左岸の鳥居で堤防がきれたので助かった。余裕高がない堤防とおっしゃったが、もっと余裕のある高さにして欲しい。	激特事業で河道の掘削を行って水位を下げています。まだ無堤のところがあるので、バランスを考えてそういうところを優先したい。	
2	浸水想定区域図にもあるように、水上地区は出石川で最も危険な地区と考える。他の地区の整備をすればするほど、弱いところにしわ寄せがくる。堤防整備をぜひともお願いしたい。	整備は台風23号の洪水が全てのところで溢れないとした前提で計画しており、いまは全川で溢れない整備を目指している。まだその水準までいっていないところがあるので、それが終わってから、次の段階で整備をしていくものと考えている。堤防整備に当たっては、軟弱地盤なので堤防に隣接した家屋に影響を及ぼす影響があるなどの課題や技術的問題があって、整備計画の20年間での対策は困難と考えている。今あるハザードマップは平成14年当時の川の状況であり、現在の状況として作り替える作業をしており、また皆さんに情報提供したい。	ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)には、4.4.1.1)の堤防、護岸等の管理に「また、防災上の問題点を把握し事前に補修等を行う予防保全策により、改修・更新費のコスト削減を図る」と追記し、事後保全に加え「予防保全型」の維持管理手法を導入することとした。
	台風23号で水が浸いていない下流の整備をしているがなぜか。	計画は整備した後の状態で溢れないようにしている。当時は、上流で溢れたので、たまたまそこは溢れなかったと考えられる。	
3	以前の説明会で堤防は全て50cm嵩上げて工事すると聞いたが、右岸の道路側がさらに50cm高くなっている。堤防の上に道路がのっているだけという説明を受けたが、実際に高さが違うので直して欲しい。	施工余盛り高の関係かと思うが、状況を確認して回答する。	
	出石川の方が円山川より水の勢いが強いと思うがどうするのか。特に寺内橋付近が危ないと聞いているが、管理の境界なので県との兼ね合いはどうするのか。	川の高水敷の削れしろをチェックしている。円山川の削れしろは堤防から30mだが、出石川は40mと考えてより強い護岸を整備している。	
4	小野川ショートカットの工事後の出石旧町内の排水はどう考えているか。	豊岡は盆地なので、豊岡市街地でも同じ状況と考えている。台風23号を越える洪水も必ずくると思っているため、ソフト対策でいかに避難情報を的確に流していくか等の対策が大事だと考えている。	ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、4.1 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する事項で、「兵庫県の総合治水条例による、流域全体で雨水を一時的に貯留・地下に浸透させる流域対策や浸水してもその被害を軽減する減災対策についても、その推進が図られるよう関係機関を支援する」と記載した。 また、同様に4.4.1.2)のその他の河川管理施設(水門、樋門、樋管、排水機場等)に「内水被害が発生した箇所については、関係自治体と協力しながら、排水ポンプ車を有効活用するとともに、大規模な内水氾濫時には、近畿地方整備局管内に配備されている排水ポンプ車を機動的に活用して、迅速かつ円滑に内水被害の軽減を図る」と記載した。
	谷川で水環境調査をしているが、円山川での水の汚れはどのようになっているのか。	相対的な評価だが、円山川は、近畿の川の10本の中では、北川と1・2位を争うようなきれいな状態である。	
5	伊豆橋下流4～500mも堤防から水が越えてえぐれたので、そこも強化して欲しい。	堤防が水が溢れた場合でも決壊しないようにするといった方法は技術的に確立されていない。堤防は溢れないようにするのが前提となっているので、河道掘削とかを行ってきたところである。	ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)には、4.4.1.1)の堤防、護岸等の管理に「また、防災上の問題点を把握し事前に補修等を行う予防保全策により、改修・更新費のコスト削減を図る」と追記させて頂き、事後保全に加え「予防保全型」の維持管理手法を導入することと致しました。

住民意見(説明会)と対応

出石総合支所(1月18日)

発言者	意見	説明会での回答	河川整備計画(案)への反映
6	出合橋と堀川橋は台風23号時に危なかった。両橋とも橋脚数が多く老朽化しているので、架替えしないのか。	程度の問題と考える。鳥居橋やKTR橋は橋脚数も多くかつ桁下も低かったので架替えを実施したが、その他の橋梁は全川的に見ても著しくネックになっているとは考えていない。	ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、4.4.1 3)許可工作物(橋梁、樋門、堰、排水機場等)に「許可工作物については、施設管理者に対して適切な指導を行い、河川管理上の支障とならないようにする。現在の河川管理施設等構造令に適合しない施設については、改築時等に改善するための指導を実施する」と記載した。
7	都会の方では、道路やビルとかに雨を溜めているようだが、出石川でもなんとか検討してもらえないか。	兵庫県による総合治水条例の推進が図られるよう支援すると整備計画には記載している。その条例では、田んぼに雨水を溜める、山の保水力を高める、いざというときに被害が少なくなるようなまちづくりをするといった検討をしていこうというものである。	ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、4.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項で、「兵庫県の総合治水条例による、流域全体で雨水を一時的に貯留・地下に浸透させる流域対策や、浸水してもその被害を軽減する減災対策についても、その推進が図られるよう関係機関を支援する」と記載した。

住民意見(説明会)と対応

日高農村環境改善センター(1月21日)

発言者	意見	説明会での回答	河川整備計画(案)への反映
1	日置橋上流右岸は土砂を取るだけの計画に見えるが、土砂を取るだけでは元に戻るだけである。当初の計画どおり畑を取って直角の流れを丸みを持たせることにより水位が下がる。	日置橋上流については一部掘削できていないところがあるので掘削を行う。また、その上流は整備計画で掘削を行う。湾曲部等で再堆積した場合には必要に応じて維持掘削を行う。	ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、4.4.2.2)の河道内堆積土砂の管理に「土砂管理に関する課題について、メカニズムや土砂動態を明らかにし、具体的な対策につなげるため定期及び出水後の河川縦横断測量や巡視、写真撮影等のモニタリングを行うことにより、河道内堆積土砂の変動の状況及び傾向を把握し、流下能力阻害となる場合は必要に応じて河道内堆積土砂の撤去を行う」と記載した。
2	①整備によっていくらの流量が流れるのか。 ②残された整備は何か。 ③西芝地区の対岸に遊水地を造ると危険にならないのか。西芝地区の堤防は狭く堤防幅を確保して欲しい。	平成16年台風23号洪水では決壊等によって立野地点で4,200m <sup>3</sup> /sが流れたが、上流で溢れなかったと仮定すると4,900m <sup>3</sup> /sが流れる。流下能力図で目標とする青い線と棒グラフの間に白いところがある箇所が浸水するところである。運動公園の所は現況では川幅が広く上流から流れてきた水がそのまま下流に流れる。遊水地を造ると小さい洪水の時は上流からの水はそのまま下流に流れるが、大きな洪水の時には小堤の所から遊水地に水が流れ込んで台風23号の洪水ではピークの水位を30cmほど低下させる。西芝地区の堤防は設計を始めているところである。	③のご意見を踏まえ、河川整備計画(案)には、4.4.1.1)の堤防、護岸等の管理に「また、防災上の問題点を把握し事前に補修等を行う予防保全策により、改修・更新費のコスト縮減を図る」と追記し、事後保全に加え「予防保全型」の維持管理手法を導入することとした。
3	<p>蓼川井堰は可動式を望んでいたが固定式で改修されているので河道の掘削は大規模に行って欲しい。</p> <p>日高地区の堤防は低くなっているため台風23号では日置地区から越流した水で浸水したので高くして欲しい。また、堤内地の水路が傷んできたのでコンクリートで改修されたが、断面が小さくなったため溢れて下流にたまる。</p>	<p>蓼川井堰は土地改良区の施設であり河川管理者で整備が出来ないが、斜めの堰を直角に直されるので流れが良くなると考えている。</p> <p>鶴岡地区の左岸は目標の流量を流せると考えている。堆積については洪水が流せない状況になれば維持掘削を行う。</p>	<p>ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、4.4.2.2)の河道内堆積土砂の管理に「土砂管理に関する課題について、メカニズムや土砂動態を明らかにし、具体的な対策につなげるため定期及び出水後の河川縦横断測量や巡視、写真撮影等のモニタリングを行うことにより、河道内堆積土砂の変動の状況及び傾向を把握し、流下能力阻害となる場合は必要に応じて河道内堆積土砂の撤去を行う」と記載した。</p>
3	縦縫神社の対岸を掘削する計画が入っていないが掘削して欲しい。日高・鶴岡地区の無堤対策を一日も早く行って欲しい。また浸水で道路が通れなくなるため病人が出ると困る。整備計画の見直しは何年後に行われるのか。	堆積については洪水が流せない状況になれば維持掘削を行う。堤内地の水路は兵庫県や豊岡市にまずは考えて頂くことになる。	<p>ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、4.4.2.2)の河道内堆積土砂の管理に「土砂管理に関する課題について、メカニズムや土砂動態を明らかにし、具体的な対策につなげるため定期及び出水後の河川縦横断測量や巡視、写真撮影等のモニタリングを行うことにより、河道内堆積土砂の変動の状況及び傾向を把握し、流下能力阻害となる場合は必要に応じて河道内堆積土砂の撤去を行う」と記載した。</p> <p>ご意見を踏まえ、同様に、4.1.1.1)堤防整備に「今なお被害リスクの高い下流部と上流部の無堤区間を優先的に実施する」と記載した。</p>
	整備計画の見直しは何年後に行われるのか。	整備計画の見直しについては台風23号を超えるような洪水が発生した場合や環境面で必要となった場合などには同じようなプロセスを経て見直しをすることになるが、基本的には20年間は見直しは考えていない。	
4	鶴岡地区に住んでいるが上流では河川整備が行われており一気に水が円山川に出てくるので洪水毎に不安を感じている。早期の無堤地区の解消を望む。	無堤地区の解消は優先的に行う。	ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、4.1.1.1)堤防整備で「今なお被害リスクの高い下流部と上流部の無堤区間を優先的に実施する」と記載した。

青字: 原案にも記載していたが、意見を踏まえて案にも記載した内容。  
赤字: 原案には記載していなかったが、意見を踏まえて案に記載した内容。



住民意見(説明会)と対応

日高農村環境改善センター(1月21日)

発言者	意見	説明会での回答	河川整備計画(案)への反映
5	国府地区の内水対策であるが、特殊堤と二線堤が出来た場合に竹貫地区は良くなるのか悪くなるのか。	国土交通省としては二線堤と特殊堤を整備するが、豊岡市の下水道事業や兵庫県の公共事業を入れないといけない所があるかもしれない。目標は台風23号に対して床上浸水を解消することとしている。	別途、提出された国府地区区長会長と国府地区内水処理促進期成同盟会長から提出された要望書を踏まえ、 <b>河川整備計画(案)</b> では <b>4.1.2の内水対策に関する事項の一部を「国府地区は、激特事業において内水ポンプ(33m<sup>3</sup>/s)の増設を行ったが、今後、兵庫県及び豊岡市と連携し、豊岡市が整備する予定の雨水排水ポンプと合わせて家屋の床上浸水被害の解消を可能とするための対策を、地域との調整を図り実施する」と修正し、併せて2.1.2、3.2.2も修正した。</b>
6	日置地区では7mのパラペットと基礎が50cm、岩盤が6mと水面から13m50cmもある。礫河原の掘削とあわせて岩山を削って欲しい。日置橋下流も削って欲しい。	激特である程度掘削して水位が下がっている。また、湾曲部や砂州で水位が上昇することを考慮したうえで水位計算のシミュレーションを行って堤防を超えないとしている。堆積しやすい所であると認識しているので、定期的な測量などで目標としている流量が流せなくなる場合には維持掘削を行う。	ご意見を踏まえ、 <b>河川整備計画(案)</b> においても、 <b>4.4.2.2)の河道内堆積土砂の管理に「土砂管理に関する課題について、メカニズムや土砂動態を明らかにし、具体的な対策につなげるため定期及び出水後の河川縦横断測量や巡視、写真撮影等のモニタリングを行うことにより、河道内堆積土砂の変動の状況及び傾向を把握し、流下能力阻害となる場合は必要に応じて河道内堆積土砂の撤去を行う」と記載した。</b>
7	国府内水対策の二線堤整備を是非お願いしたい。ただし、竹貫地区もあわせて良くして頂けるようお願いしたい。	国府内水対策については検討が必要なので直ちに着手は出来ない。竹貫の治水対策は兵庫県との調整が必要なので具体的にどうするかは申し上げられない。鶴岡橋は現在の橋脚に対して角度が変わることは問題ない。橋脚の数が少なくなるので上流でせき上がることの解消になる。堤防が質的に弱い所は蓼川井堰から下流の約300mの間である。	別途、提出された国府地区区長会長と国府地区内水処理促進期成同盟会長から提出された要望書を踏まえ、 <b>河川整備計画(案)</b> では <b>4.1.2の内水対策に関する事項の一部を「国府地区は、激特事業において内水ポンプ(33m<sup>3</sup>/s)の増設を行ったが、今後、兵庫県及び豊岡市と連携し、豊岡市が整備する予定の雨水排水ポンプと合わせて家屋の床上浸水被害の解消を可能とするための対策を、地域との調整を図り実施する」と修正し、併せて2.1.2、3.2.2も修正した。</b>
8	国府内水対策の具体的な内容、スケジュールを教えて欲しい。また、図面があれば欲しい。鶴岡橋の橋脚の方向により上流からの水は松岡、土居にあたるが、蓼川井堰の改築によって改善されるのではないかと思っている。16日の新聞に堤防が弱く決壊の恐れのある地区ということで松岡のあたりがあがっているがどこか具体的に教えて欲しい。		

青字: 原案にも記載していたが、意見を踏まえて案にも記載した内容。  
赤字: 原案には記載していなかったが、意見を踏まえて案にも記載した内容。

住民意見(説明会)と対応

城崎総合支所(1月22日)

発言者	意見	説明会での回答	河川整備計画(案)への反映
1	洪水により道路が冠水するので解消して欲しい。	治水対策は住家を守るために行っているのですが、道路冠水だけならば道路管理者が責任をもって対策を実施するものと考えられる。	ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、4.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項に「兵庫県の総合治水条例による、流域全体で雨水を一時的に貯留・地下に浸透させる流域対策や浸水してもその被害を軽減する減災対策についても、その推進が図られるよう関係機関を支援する」と記載した。
	なぜ川の幅をもっと広げることができないのか？もっと大胆な河川整備の発想はないのか？	河道の拡幅はインフラの移設や家屋の移転が発生するので時間的な制約で難しい。必要最低限の整備でなんとか既往最大の台風23号をギリギリで流せるようにしている。	
	昔に比べて雨が到達する時間が早い。上流の改修が進んでいるので下流に負担がかかっているのではないのか？	上流を改修されたことを前提に計画をしており、台風23号がもう一回来たとしても、管理区間ではどこも溢れずになんとか流せるような整備を考えている。	
	気比の浜に川からのゴミが漂着するので我々が回収しているが、焼却もできず埋めることもできずに持って行くところも遠いので、ゴミを回収して欲しい。	ゴミは流域で減らすことが重要であり、円山川を美しくする会を幹事として取り組んでいるので、今後とも皆さんと協力してゴミを減らす啓発をしていきたい。	
2	港大橋から下流は港湾区域で県管理であるので国では対応できないとの話をよく聞かすが、国が県を指導すべきではないか？	港大橋下流から導流堤の先端までは、河川区域と港湾区域が重なっている。同じ河道の浚渫でも治水などで必要な浚渫は河川管理者が行い、船の移動に必要な浚渫は港湾管理者が行っている。	ご意見を踏まえ、4.4.2.1)の河道内樹木の管理に「河道内の樹木の樹種や成長、繁茂の状況などについて調査する。洪水時に流下能力阻害となる樹木等については関係者と協議しながら適切な対策を検討し、必要に応じて輪伐するなど、河川環境の保全に配慮した伐採を実施して河道の流下能力を維持する」と記載した。
	水がスムーズに流れるように葦以外の樹木は伐採して欲しい。	必要に応じて定期的に樹木は伐採しないといけなとされており、現在でも実施している。	
	ゴミはオイルフェンスを張って取れば良いのではないのか？それを洪水前に撤去するような管理をすれば良いのではないのか？	川の中に流れを阻害するようなものを設置することはできない。設置して洪水前に撤去するような管理も、船での作業になるので難しい。	
3	奈佐小橋から城崎付近までパラベットを設置すると下流の城崎では洪水が増えるのではないのか？	上流から下流まで全川を改修されたことを前提に計画をしており、台風23号がもう一回来たとしても、なんとか流せるような整備を考えている。また、整備計画の目標が達成できれば、次の目標設定を行い、段階的に整備を進めて行くこととしている。	ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、4.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項で、「兵庫県の総合治水条例による、流域全体で雨水を一時的に貯留・地下に浸透させる流域対策や浸水してもその被害を軽減する減災対策についても、その推進が図られるよう関係機関を支援する」と記載した。 また、同様に4.4.1.2)のその他の河川管理施設(水門、樋門、樋管、排水機場等)に「内水被害が発生した箇所については、関係自治体と協力しながら、排水ポンプ車を有効活用するとともに、大規模な内水氾濫時には、近畿地方整備局管内に配備されている排水ポンプ車を機動的に活用して、迅速かつ円滑に内水被害の軽減を図る」と記載した。
	城崎のポンプ場は15m <sup>3</sup> /sが整備されているが、これで安心か？	城崎のポンプ場は、23m <sup>3</sup> /sを整備しており、台風23号に対する床上浸水防止を目的としているため、完全に内水が解消されるわけではない。	
	内島・桃島地区は湯島と同じ位の水系だと思うが、5m <sup>3</sup> /sクラスでは排水できないのではないのか？	桃島地区は、桃島池があり水面積が大きいので水位上昇が小さくなるという特性があり、このような特性を踏まえてポンプ容量を決定している。	
	楽々浦湾の入り口の前面を造成することで、流れがスムーズになるのではないのか？	そういった水理現象のもとで、台風23号の洪水は流せるように考えている。	

青字: 原案にも記載していたが、意見を踏まえて案にも記載した内容。  
赤字: 原案には記載していなかったが、意見を踏まえて案に記載した内容。

住民意見(説明会)と対応

城崎総合支所(1月22日)

発言者	意見	説明会での回答	河川整備計画(案)への反映
	現在鋼矢板が打ちこまれているが、法線はどのように決まったのか？	基本的に河岸沿いに設定しているが、部分的に法線がまっすぐになるようにはしている。	
	道路とパラペットの間の土地はどのように管理されるのか？	将来的な堤防計画があるので河川で管理していくが、道路管理者とも調整はしたいと考えている。	
4	1mのパラペットでは乗用車にのっていると水面が見えないのでさらに道路を嵩上げして欲しい。	景観のためだけに道路を嵩上げすることは難しい。構造令上1m程度に抑えることとしている。	ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても4.1.1.1.(1)の下流部無堤対策に「現状の社会基盤の改変と景観や自然環境への負荷を最小限に止められる整備を行う」と記載した。
	パラペットが完成すると各地区への進入路はどうなるのか？また内水対策はどうするのか？	(国交省)地区の方々と調整して方針は決めていく。また内水の発生は認識しているが、まずは外水対策である堤防整備をしていきたい。 (豊岡市)豊岡市では進入路について協議会を作って協議している。また内水の問題は、豊岡市が担当なのでシミュレーションを行ったが、今津地区では床下浸水が発生するが、その他の地区では発生しないと認識している。	ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、4.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項で、「兵庫県の総合治水条例による、流域全体で雨水を一時的に貯留・地下に浸透させる流域対策や浸水してもその被害を軽減する減災対策についても、その推進が図られるよう関係機関を支援する」と記載した。 また、同様に4.4.1.2)のその他の河川管理施設(水門、樋門、樋管、排水機場等)に「内水被害が発生した箇所については、関係自治体と協力しながら、排水ポンプ車を有効活用するとともに、大規模な内水氾濫時には、近畿地方整備局管内に配備されている排水ポンプ車を機動的に活用して、迅速かつ円滑に内水被害の軽減を図る」と記載した。
	維持管理のためには、住民組織の確立、啓発活動などが重要と考えるが、どのようにするのか？	ゴミ問題等に対しては円山川を美しくする会等により啓発活動が続けていく。また出前講座により治水や環境の講義を通して啓発活動を行ってきたい。	ご意見を踏まえ、河川整備計画(案)においても、4.5.2の河川の愛護活動に関する事項に「円山川を美しくする協議会や地域住民、関係機関等と連携を図り、アダプト制度の導入等によって美化清掃活動や愛護活動等を継続する」と記載した。